金型製作

独自の技術を駆使して、自動車プレス部品の金型を製作しています

もっと、くわしくみてみよう!

職場見学可能です

株式会社旭洋工業製作所 須山工場

所在地／裾野市須山2810-2　TEL.055-965-1034　https://www.kyokuyo-ind.co.jp
設立／1953(昭和28)年10月　従業員数／42名 グループ全体1,500名(2026年11月現在)

私たちの仕事

私たちは自動車の部品をつくるために必要な「金型」をつくっています。金型を使うことで、同じ形の部品を正確にたくさんつくることができます。つまり、安全で快適な自動車をたくさんつくるのに欠かせないのが、「金型」なのです。須山工場では、金型を設計・製作して自動車メーカーさんへ出荷しています。誰かの暮らしを見えないところで支えている思いを大切にしながら、工場全体で協力して金型をつくっています。

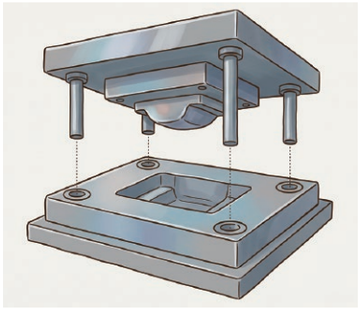


▲外観

? 金型製作の仕事とは?

金属でできている型を製造

たい焼きの型も金型の一種です。自動車の部品は上下の金型で金属の板をはさみ、強い力で押して形をつくります。須山工場では、車のボディーやフレームの部品用の金型をつくっています。

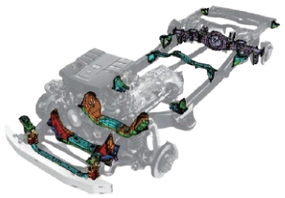


自動車のボディー


※色のついている部分の部品をつくるための金型を製造

車の形をつくり、乗る人をしっかりと守るボディー(車体)。車を安全に動かす大切なパーツです。

自動車のラダーフレーム



車の土台となり、重いエンジンなどを支えるフレームです。完成した車では見えにくいですが重要な部品です。

本社では自動車部品を製造



須山工場でつくった金型を本社工場へ送り、大きなプレス機に取り付けて自動車の部品を一度に大量に生産しています。

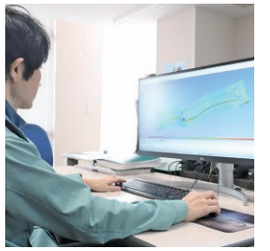
? 金型はどのようにつくられるの?

設計から加工・組み立てまで、みんなで協力して金型をつくります。



1 設計

つくりたい部品の形にあわせて、パソコンで金型の図をかきます。



2 CAE

金型がうまく部品をつくれるか、先にコンピューター(CAE)の中でチェックします。



3 機械加工

大きな機械を使って金属を削り、金型の部品にします。ミリより小さい単位で細かく削ります。



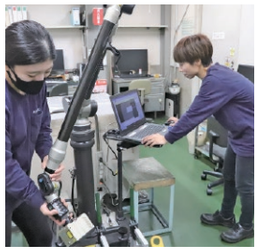
4 仕上げ・組み立て

削った部品をていねいにみがいてから組み立てて、ひとつの金型にします。



5 トライ(試し打ち)

できた金型で試しに部品をつくり、うまく形ができるか、金型にまちがいがないかを調べます。

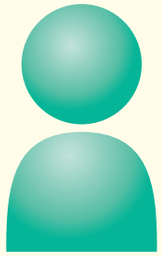


6 測定

試しにつくった部品のサイズや形をくわしく測って、図のとおりにできているかを確認します。

働く人の声

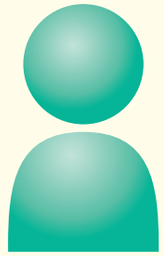
仕事のやりがいを聞いてみました。



工機事業部
設計グループ
Mさん

組み立てやすく、壊れない金型を設計

お客さまの仕様に合わせて、自動車のプレス部品の金型を設計しています。どんなカッコイイ自動車になるか、想像しながら設計しているときが楽しいです。



工機事業部
金型・機械グループ
Kさん

金型の部品組み付けや仕上げを担当

ひとつの金型の完成まで最低でも1〜2か月はかかり、やることがいっぱいあるのでとてもやりがいを感じます。それぞれの金型で作業内容がちがうので楽しく、完成したときの達成感もあります。